

2025 家族でかくにん!

# わが家の ぼうさいコンテスト 入賞作品集



もしものときに備え、家族で話し合おう!

主催／ふくいの水防災を考える会  
(福井河川国道事務所、福井地方气象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、若狭町)

共催／福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会 福井県防災士会  
特別協賛／JA共済連 福井 協賛／近畿建設協会 損保協会北陸支部福井損保会 協力／ミドリ防災

本コンテスト等は、国土交通省の「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づき、九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会において取り組む施策として実施しています。



JA共済も地域貢献活動の一環として、「わが家のぼうさいコンテスト」を応援しています。

# もくじ

- 2 入賞者一覧
- 3 審査委員名  
審査講評  
福井工業大学  
工学部建築土木工学科教授 竹田 周平氏
- 5 最優秀賞 作品紹介  
敦賀市立中央小学校4年 上野 乃花さん
- 7 優秀賞 作品紹介  
福井市木田小学校6年 亀井 義仁さん
- 8 優秀賞 作品紹介  
福井市明新小学校4年 村中 杏朱さん
- 9 JA共済連福井本部長賞 作品紹介  
越前市味真野小学校4年 光川 琉生さん
- 10 NHK福井放送局長賞 作品紹介  
坂井市雄島小学校6年 橋本 かなかさん
- 11 福井新聞社長賞 作品紹介  
越前市吉野小学校6年 間 美貴さん
- 12 入選作品の紹介
- 18 奨励賞作品の紹介

# 2025 家族でかくにん! わが家のぼうさいコンテスト 入賞者一覧

 最優秀賞	敦賀市立中央小学校4年 上野 乃花さん		
 優秀賞	福井市木田小学校6年 亀井 義仁さん	福井市明新小学校4年 村中 杏朱さん	
 JA共済連福井 本部長賞	越前市味真野小学校4年 光川 琉生さん	 NHK 福井放送局長賞	坂井市雄島小学校6年 橋本 かなかさん
 福井新聞社長賞	越前市吉野小学校6年 間 美貴さん		
 入選	福井市木田小学校4年 亀井 義正さん 福井市河合小学校6年 加納 真菜さん 福井市明新小学校4年 奥山 結月さん 鯖江市立待小学校5年 西澤 風羽さん	福井市順化小学校4年 藤本 ちなみさん 福井市明新小学校4年 大川 はなさん 坂井市三国北小学校6年 矢吹 利奈さん 敦賀市立中央小学校6年 塩野 銀河さん	福井市西藤島小学校4年 伊藤 翔さん 福井市明新小学校4年 南 奏向さん 鯖江市立待小学校5年 宮永 明香里さん
 奨励賞	福井市日之出小学校4年 櫻井 新之助さん 福井市明新小学校4年 榮 美結さん 福井市明新小学校4年 西澤 周平さん 坂井市雄島小学校5年 伊野 颯馬さん 鯖江市立待小学校5年 駒野 蒼空さん 越前町宮崎小学校6年 笹下 結詩さん 小浜市今富小学校6年 植村 果朋さん	福井市明新小学校4年 長谷川 纏さん 福井市明新小学校4年 奥平 望瑛さん 福井市文殊小学校4年 木村 悠乃さん 坂井市三国西小学校5年 浅田 蘭さん 鯖江市立待小学校6年 井美 岳大さん 越前町宮崎小学校6年 川室 勇咲さん	福井市明新小学校4年 嶋橋 理沙さん 福井市明新小学校4年 渡邊 明日哉さん 永平寺町上志比小学校5年 山口 祈和さん 鯖江市片上小学校6年 三ツ山 泰生さん 越前町宮崎小学校6年 多田 龍駆さん 敦賀市敦賀南小学校5年 小森 実菜さん

## 審査委員名列

審査委員長	竹田 周平氏	福井工業大学工学部建築土木工学科教授
審査委員	野村 文彦氏	国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所長
	木下 信好氏	気象庁福井地方気象台長
	三田村 佳紀氏	福井県土木部副部長
	中村 博司氏	池田町総務財政課参事
	山田 隆史氏	NHK福井放送局長
	岡本 寛紀氏	JA共済連福井本部長
	山本 道隆氏	福井新聞社常務取締役営業本部長



## 審査講評

〈審査委員長〉 竹田 周平氏



「わが家の防災コンテスト」は、21年前に発生した福井豪雨の記憶と教訓を伝え、児童とその家族の視点で、防災の大切さを啓発することを目的とし、今回で12回目を迎えることができました。また「わが町の防災コンテスト」は、地域や地区の防災や減災に関する活動や事例を共有することで、さらなる地域防災力の向上を図ることを目的に、今回で7回目の開催となりました。令和7年度の応募について、「わが家」では187件(応募の学校数は19校)と多くの応募がありました。また、「わが町」では8団体の応募がありました。

審査において、「わが家」では▽災害前の対応▽発災時に何をすべきか▽地域や地区の避難場所、危険箇所などの調査▽地区の避難訓練への参加▽実際に取り組んで分かったこと—が表現されているかを中心に審査しました。また「わが町」では、地域で取り組んでいる防災活動の中で地域の特性を踏まえた取り組みなのか、防災活動では大切な継続性があるのか、などに着目して審査を行いました。

今年度の講評として、「わが家」では実効性が期待される取り組みが多く確認されました。中には、ご近所の障害のある住民の避難課題を調査し家族ができることを考えるなど共助の在り方をまとめた作品、前年度に作成した我

が家の防災マップの情報を更新した作品、自宅近くの避難所の収容人数と地区の人口を比較して課題を明らかにした作品など、質の高い取り組みや素晴らしいアイデアが含まれていました。さらに、人工知能技術を利用した新しい調査に挑戦するなど、県内の防災力を向上させるための取り組みが認められたことは喜ばしいことです。コンテストの重要性を改めて認識しました。

「わが町」で評価された作品は、重要な課題でもある要配慮者とともにいる継続的な防災活動や、新しいシステムを取り入れた防災活動などです。地域や地区の特性を踏まえた防災活動が毎年積み上げられ、防災・減災力が高まっていることが認められました。

「わが家」「わが町」の防災活動は、定期的に新しい情報や知見、活動に基づき改善することが大切です。今回の作品集は、素晴らしいアイデアや有益な実例が含まれています。この成果を参考に、応募されたご家族や地域の団体のみならず、今回応募に至っていない方々にも有益な情報、資料になるものと自負しておりますし、福井の防災・減災力の発展、さらなる広がりを大いに期待しております。

むすびに、このコンテストに応募された皆さま、コンテストを開催し運営を頂きました、ふくいの水防災を考える会の関係各位に敬意を表し、このコンテストの益々の発展を祈念いたします。

# 2025 <sup>かぞく</sup>家族でかくにん! <sup>や</sup>わが家のぼうさいコンテスト 入賞作品集



表彰式で竹田審査委員長(左)から賞状を受け取る、最優秀賞の上野乃花さん  
=2025年10月25日、福井新聞社・風の森ホール



引き締まった表情で表彰式に臨む児童ら



入選に輝いた児童たち



奨励賞を受賞した児童たち



入賞の力作を並べた作品展



敦賀市立中央小学校4年  
上野 乃花さん



受賞者コメント

私の住む区では、9月末に震度5以上の地震が発生したとの想定で自主防災訓練が行われました。町内に訓練実施のアナウンスがされた後、各世帯で安否シートを玄関に表示しました。自衛消防隊が、区の総数438軒の安否をチェックし、確認できたのが410軒、不在は28軒という結果でした。安否シートが見えにくい場所に置かれていたり、風で飛ばされていたり、改善ポイントも見つかりました。

わが家の防災計画を作成するにあたり、近所に住む金生さんに取材しました。金生さんは目の不自由な方で、点字セットをプレゼントしてもらいました。家族みんなで点字を打って勉強しています。突然おそってくる災害に備えて、常日頃から地域みなさんと助け合える信頼関係を築いていきたいです。

賞を頂き、防災士会に入会しておられる大好きな担任の川北あゆみ先生がおめでとう!と 言ってくれて、手作りの表彰状をくれたことがとてもうれしかったです。

講評 (審査委員長) 福井工業大学工学部建築土木工学科教授 竹田 周平氏

自宅周辺の要配慮者の避難支援に着目しております。その要配慮者の避難における課題を家族で考えてアイデアを抽出し、家族ができることを丁寧に具体化している点が素晴らしい。また、町内の消火栓の調査や避難用のマイボトルの具体例を紹介するなど良いアイデアが含まれていること、そして分かりやすく美しい作品となっています。ご近所と助け合える関係性をつくる強いメッセージが高く評価されました。

# わが家の防災計画 2025

**【大災害を知ろう】 2025年 2月9日 (日)** 3月のめきと金生小学校

敦賀市まちづくり防災啓発セミナーに参加し、東日本大震災で津波にのまれた事や、地元区長として対応された九日市防災資料館(福井県)宮本英一氏の貴重な体験をお聞きしました。2011年3月11日(金) 14時46分 地震発生 三陸沖を震源とするマグニチュード9.0 15時50分 鹿島堤防の設置していない漁港周辺の堤防を乗り越えて津波が来る(地震発生後約1時間後)津波にぶたれてきたゴミを片付ける。 17時 22分 防災無線で「大津波警報、緊急避難」突然パツパツと音がして、津波が堤防を壊しながら襲ってきた。あと3分間に津波の激しい波が押し寄せた。中に沈んでしまう。奥は2人で溺れかけた。溺れたままの屋根の残骸の上に登り一命をとりとめる。ZOOMのポットに入っていた携帯電話は防水機能が付いていたので通信が通じた。子供も学校の授業で津波について学んでいたので、被害がなかった。

**【大災害を学び話し合う】**

東日本大震災で九日市は津波により、十数名の死者を出し、多くの建物が倒壊するなど大被害に見舞われた。東と北の千葉県でなぜ大津波が? 海流と地形によって津波被害が広がりました。津波は、何回来るかもわかりません。九日市では3回来ました。(九日市では5回説もある) 第一波(15:50頃) 第二波(16:20頃) 第三波(17:20頃) 津波は揺れから3時間以内は何回も来て、2時間半後が超巨大だ。津波は音がないので、体感では事前に気付けない。そして、津波は何回もくる。だから津波警報が「解除系」になるまで、家には戻らない事が大切。堤防が必要と言う事がわかりました。携帯電話は防水機能が付いているものが役立つ。いざと言う時のために、毎日充電するよう心がける。

**【地域の防災訓練に参加しよう】 2024年 9月29日(日) 野神区会館**

野神区自主防災訓練に参加しました。(区民80名参加) 消防士さんから消火器の使い方を説明してもらい、水をつけて使い方の練習を行った。消火器の使い方「3ステップ」……1ピン 2ホース 3レバーと覚える

1. ピンを抜く
2. ホースの先端を持って
3. レバーをにぎる

ポイント: ホースの先端を持って、消火中にホースが暴れて火内移動体験……火災時、家屋内に充滿した火の中から屋外に避難する方法を学ばした。震災の発生は予期がつかず、何かが起こる前に備えておく事が大切です。火災でとくなる方のほとんどが、重傷を負ったことによる一酸化炭素中毒によるものです。

★タオルやハンカチを鼻と口に当て、姿勢を低くして避難する。(消火器の取り扱い講習) (煙内移動体験)

**【昭和浄水場を見学しよう】 2025年 7月27日(日) 野神の昭和浄水場**

敦賀市上下水道局で天筒浄化センター、昭和浄水場を見学しました。昭和浄水場には災害時の為に敦賀市民6200人の約2週間分の水が確保されている。タンクの上に置かれても倒壊しない命の水を見せてもらいました。(水道水確保と防災訓練の連携)

**【防災計画作成のきっかけ】** 父と母が町内の自衛消防隊の役員になり、消火栓BOXの点検、交換を行ったり、防火倉庫の点検を実施しました。来月9月28日には野神区民全世帯が参加し、各世帯で安否確認を行う野神区自主防災訓練があるため、今年も家族全員で防災会議を行いました。

**【野神区内水利図】** 8月30日~9月5日(9月1日は防災の日)の防災週間。各地で防災訓練が行われます。

**【避難時の課題】**

1. 情報取得の遅れ
2. 避難経路の不明
3. 避難場所での課題

**【防災ボトルを作ってみました!】**

- ① 透明なウォーターボトル(530ml)
- ② ホイッスル
- ③ ライト
- ④ 圧縮タオル
- ⑤ レインポンチョ
- ⑥ 小銭
- ⑦ 簡易トイレ
- ⑧ トイレの紙詰まり
- ⑨ 歯みがきシート
- ⑩ 塩分タブレット
- ⑪ はしろうこう

**【まとめ】** 災害はいつ起こるかわからないので、事前の備えが大切だと実感しました。もしもの時に落ち着いて行動できるよう、地域の防災訓練に参加し、地域の人たちと助け合える関係を作れたら幸いです。命を守ることを最優先に考えて、これからも家族全員で防災の知識を高めていきたいです。



優秀賞

福井市木田小学校6年  
亀井 義仁さん

講評 (審査委員長)

前年度で作成した防災マップを調査した結果から今年度版に見直した取り組みが素晴らしい。また、地区の防災訓練に参加し、非常持出袋を持って避難を体験したこと、さらには実際に備蓄された防災食の試食や日用品を使用したの具体的な調理方法を整理するなど、分かりやすく作成している点が評価されました。ここでアイデアは他の参考になるため有益な作品となっています。

## 電井家防災マップ2

ぼくの町のひまな所アップデート  
ぼくの地区は下馬東公園に集合して木田小学校へひまなすることになっているけれど自治会が希望として①県立中企業産業大学校②県立図書館③福井市美術館④結こん式場(グラントピア)にもひまなできるようにしました。

地震の時のひまな所 2024年のマップをアップデート!

TELボックス  
下馬公園  
二次のひまな所 下馬東公園  
二次のひまな所 木田小学校  
ぼくの家  
結こん式場  
美術館  
AED  
AED  
AED

本重 種類	危険度	内容	行方
高い階層の建物	中	高層階などの建物に長時間がかりの人や危険な所に住んでいる人は避難する	エレベーター・ネット・情報収集を要する。上に上がるのを避ける
ひまな指示	高	災害による危険が高まっているので安全な場所への避難する	電気の元カケを止める・非常持出袋を準備する
緊急避難確保	激高	命が危険な状態	避難を始める前に避難完了を確認する

ひまなするときのやること  
①電気のブレーカーを落とす  
電気が停んだときに火災にならないようにするため。  
②ガス水道の元栓をしめる  
ガス管がいたまるとガスが漏れ、爆発するかもしれないから。水道管がいたまると水もれする可能性があるから。  
③家族への伝言を残す  
はなれている家族に自分がどこに避難したか分かるようにするため。

### ぼくの防災2025年

#### 地区の防災訓練に参加

サイレンが鳴ってからは非常持出袋を準備して下馬東公園まで歩いて行きました。下馬南地区の助け合いで人数を伝えました。ぼくにはおのちのちがいてるので家から公園まで3分30秒もかかりました。非常持出袋は必ず持ち出すので持ち出せるけい関に置いておこうと思いました。

#### 福井市の防災食をもらたよ!

福井市の茶会センターの見学で福井市が備えている非常食を分けてもらいました。福井市はぼくたちのために食べ物や保管してきていて、期限が近づいた物を試食に配っていました。ぼくはカパンを食べました。かたいと「スグットみたい」おやつに食べたいくらいおいしかったです。

#### 防災実習会「カノコで卵を作ろう」

水、電気がなくても卵を作る方法を何度も試行錯誤で見つけました。

(用意する物)  
使い捨てカイロ2つ・卵  
カノコ  
軽断熱のカップ  
アルミホイル

(作り方)  
①卵をアルミホイルでつつむ(洗剤が染みわたらないように)  
②カイロの中身を紙カップに入れておく  
③②をマグカップに入れて3時間待つ  
④完成

#### エンゼルランドでやっていた親子が学んだ防災XSDGsに行きたよ

本物をもとにしてオリジナル開発された消火器を使って、バーベキュー火体島島にやりました。

(消火器の使い方)  
1. 消火器を火災現場の近くで安全な場所まで運ぶ。  
2. 黄色の安全ピンを引く。  
3. ホースを外し、ホースの先端を持って火元に向ける。  
4. レバーを強く引いて放射する。  
5. 火の根元をねらって前からほうきでように放射する(消火器X)

米粉末消火器で15秒程度、粉化液消火器で30~40秒程度放射できる。放射できる時間や放射量は必ず書いてあるからチェックする。

(感想)  
ぼくは去年も防災マップを作りました。去年は非常持出袋の「クワイヤ防災グッズ」について言っていたので今年とは違うことを言っていました。ぼくの住む町では避難半島地震の後、ひまな所が遠いことを心配する意見が出ました。家の近くの結こん式場や美術館がひまな所になることになりました。ぼくも安心しました。

今更「このための防災教室身の中りかたがわかる本」

受賞者コメント



ぼくが防災マップを作ったのは二回目です。去年は防災グッズについてまとめたので、今年はずうことを調べようと思いました。まず、一年間で発見したことを入れて防災マップの見直しをしました。一番大きく変わったのは、結こん式場をひまな所として利用できることになりました。地区のお店が防災に協力してくれてうれしかったです。次に、ひまな情報や、災害が起こった時の行動をまとめました。防災グッズを備えるだけじゃ

なくて、災害が起きた時にどうするかを家族と相談しておくことも大事だと思いました。それから、一年でたくさんの体験をしたので「ぼくの防災2025年」として、しょうかいました。実はカイロで卵をつくる実験が一番大変でした。火や電気なしで食べ物を温めるのは難しいことが分かりました。二年間防災マップを作ってみて、情報は変わっていくから自分で調べてアップデートしていかないとけないと感じました。



優秀賞

福井市明新小学校4年  
村中 杏朱さん

講評 (審査委員長)

自宅周辺のハザードマップを調査し「地区の人口」と「避難所の数や収容人数」との課題を明らかにしたこと、また避難所は災害によって違うことを分かりやすく整理している点が素晴らしい。そして、住宅の2階以上の垂直避難の可能性に言及したこと、AIを利用して避難時のQ&Aを作成したこと、わが家のタイムラインを作成したことなど良いアイデアが含まれている点が高く評価されました。

## 水害にそなえる。 私たちの防災マップ

明新地区について  
私たちが住んでいる明新地区には九頭竜川が流れています。この川が決壊したらどうなるかな? 明新地区は広いはいいし水もあそそあり!!

ハザードマップ

地区全体がしん水してしまう想定

増水警戒ポイント

全員かひなん戸にきたら...  
地区の人口は15,653人もいるのに、ひなん所は2つしかない。2つのひなん所は、ひなんする人でいっぱいになり、入りきらないことも考えられる。

★洪水の時に開く指定ひなん所はどこ?  
◎明新小学校(※水害時一番開く!)  
◎明新中学校

★何人の人が住んでいる?  
明新地区に住んでいる人の数は、約15,653人!!

分散して新せきホテル、立体駐車場等  
早めのひなんが大切です!!  
また、建物の2階以上の高い所へ  
垂直ひなんをすることが大事。

### AIに聞いた!! ひなん時のQ&A

Q: ひなん所は何処ですか? A: 安全に過ごすときの場所。 Q: ひなん所にはだれでも入る? A: 基本OK! 購買の時は別で案内される。 Q: ひなん所には何人入る? A: 体育館の計算で約1000~1500人。 Q: ひなん所に入る順番はある? A: 小さい子や体が不自由な人が優先。 Q: ひなん所イベントは開催している? A: ルールやケーンが必要で多い。 Q: ひなん所にトイレはある? A: あるけど多分限り。 Q: ひなん場所でのトイレは出る? A: すぐ出ないこともあるから非常食が安心。 Q: ひなん所のマスキングは必要? A: 人が多い所ではあるけど。 Q: ひなんする時の服装は? A: 歩きやすい靴が安全。 Q: ひなんする時の服装は? A: 歩きやすい靴が安全。	Q: 早めのひなんってどのくらい? A: けいけいからけいけい。明新のうちにひなん。 Q: 外に出られない時はどうする? A: 垂直ひなん(2階以上に行く!!) Q: 車でもひなんしてもいい? A: 水が来る前はいいけど、だん水してる時はX Q: 長つはあつはあつ? A: あるといけど、流れある所は入らない。 Q: リュックやかばんは何を入る? A: 水、食、物、ライト、電池、タオル。 Q: リュックは家族で1つ持ちたいから1つ? A: 家族用1つ各自で軽い袋。 Q: リュックに入る水は何本? A: 自分1人1日2L。持てる分がOK!! Q: 水はどのくらい持つていけばいい? A: 水が少い時はウェットやアロコル。 Q: 水が少い時はウェットやアロコル。 Q: 水が少い時はウェットやアロコル。 Q: 水が少い時はウェットやアロコル。 Q: 水が少い時はウェットやアロコル。	Q: 戸を閉める時に気をつけることは? A: 火を消してかきさしめる。 Q: プレカーは落とす? A: できれば落とす必要はない。 Q: 避難場所の安全確保は? A: 市や学校の「安全」確保。 Q: 電話がつかない時は? A: メッセージ、災害用伝言板を使う。 Q: 水が来た時にどうする? A: 水位が上がるまで待つ。 Q: 水が来た時にどうする? A: 水が来た時にどうする? Q: 水が来た時にどうする? A: 水が来た時にどうする? Q: 水が来た時にどうする? A: 水が来た時にどうする?
--	--	---

### わが家のタイムライン

数日前(大雨がはじまら)	前日(大雨が近)	大雨がはじまら	ひなんしようがはじまら	水害がおさまら
天気予報。川の水位アップ。 水、食料、電池、かんトイレ、 ひなんリュックをけいけい。 準備完了(最低3日分) モバイルバッテリー、かんび、 貴重品をまとめる	ハザードマップを印刷して 外に出られない時はどうする? ひなんリュックをけいけい。 準備完了(最低3日分) モバイルバッテリー、かんび、 貴重品をまとめる	大雨がはじまら。川の水が増えたり、 外に出られない時はどうする? ひなんリュックをけいけい。 準備完了(最低3日分) モバイルバッテリー、かんび、 貴重品をまとめる	ひなん指示でもき本は自 たの6階に避難。 避難やだん水が長期化し そうなら明新のうちにひ んを校計	市の安全かくにんが出るまで たにおかない しん水場所には感電、感染症 に注意 水害発生後に見せに安速速く

受賞者コメント



最近、日本のいろいろな所で台風や大雨によって川の水が増えたり、ていぼうが決壊したりして水害が起きています。私が住んでいる明新地区には九頭竜川が流れていて、もし、この川も大雨で決壊してしまつたら、この地区にはどのような被害が起こるかを考えました。工夫した所は、避難時にどのように行動すればよいかをAIに質問をして、誰でも簡単に楽しく知ることができるようにクイズ形式にしたところ。また、AIに聞いたことで自分が予想していなかった答えが出てきて勉強になりました。

実際に水害が起きた時の明新地区について調べてみると、住んでいる人の数は1万5653人もいるのに対して、洪水が起きた時に開く避難所は2カ所しかないので分かりました。多くの人が集まると、本当に避難できるのでしょうか? これを解決するには、親せきの家やホテル、立体駐車場等に早めに分散して避難することが大切だと思いました。今回調べて学んだことを生かして、もしも水の時のそなえをしっかりとしていきたいです。







福井市西藤島小学校4年  
伊藤 翔さん

講評 (審査委員)

ご自身の暮らす地域で起きた災害を調べ、実際に避難経路の危険箇所を確認し、それを踏まえて避難行動計画を考えています。クラゲを模した水うを作成するなど、ユーモアの光る防災グッズで避難生活が明るくなりそうです。



福井市明新小学校4年  
大川 はなさん

講評 (審査委員)

家の周りの危険な箇所をハザードマップなどによって整理し、災害時の行動をご家族での約束事として決めてある点がとても良く安心感がありました。また、自宅避難における備蓄品や、ガス・上下水などが使えない場合の対応についても、細かく整理されていて良かったと思います。

※作者の意向により一部を加工しています。



福井市河合小学校6年  
加納 真菜さん

講評 (審査委員)

マイ・タイムラインでは、警戒レベルに応じた行動が分かりやすく整理され、特に服装についてはイラスト付きで視覚的にも理解しやすい点が印象的でした。また、防災バックに常備している物や不足している物も、チェックしやすく整理されていて良かったと思います。



福井市明新小学校4年  
南 奏向さん

講評 (審査委員)

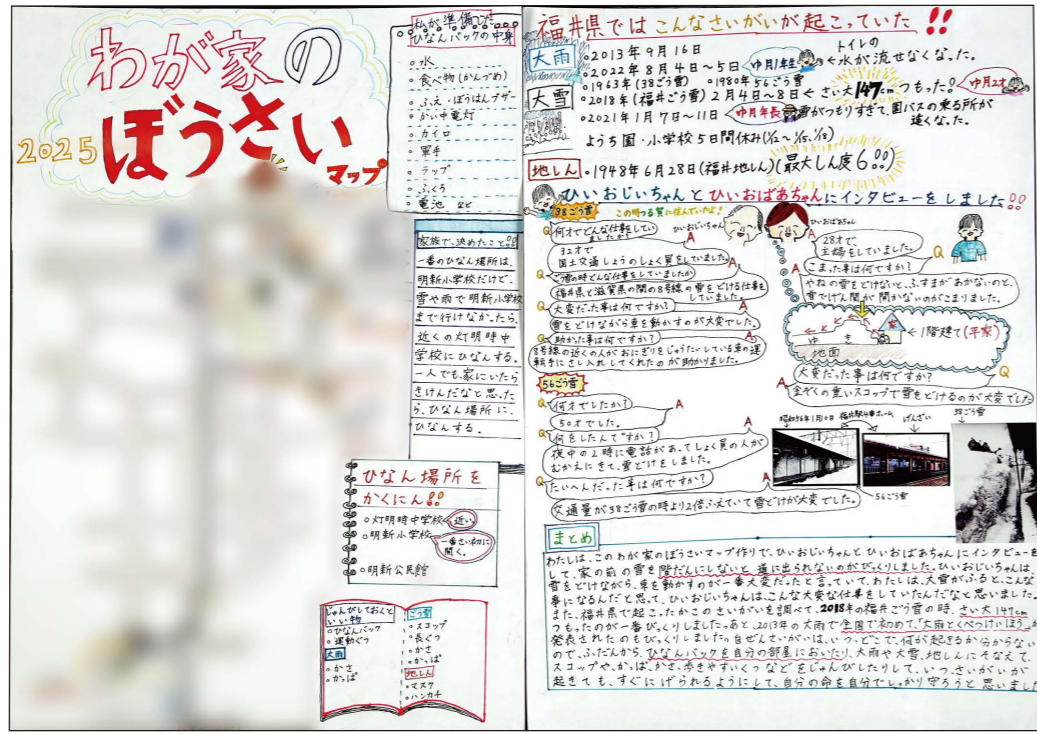
自宅から避難場所までの危険な場所を把握し安全なルートが分りやすく示されており、また避難時や避難場所で気を付けることも整理されていて良かったと思います。今後もご家族で防災会議を開き、災害への備えについて話し合っていたいただきたいと思います。



福井市明新小学校4年  
奥山 結月さん

講評 (審査委員)

過去の災害を調べることや、災害を経験した人に当時の話を聞くことは新たな気づきを与えてくれます。防災マップには避難する際に自宅周辺の危険な場所と合わせて注意点も記載されており、災害時の避難に役立つ情報が整理された作品です。



※作者の意向により一部を加工しています。



鯖江市立待小学校5年  
宮永 明香里さん

講評 (審査委員)

避難するタイミングや避難所までの時間、避難が遅れた場合の行動も考え、水害から命を守る気持ちを感じられる作品です。災害時の備用品についても、理由を含めてきめ細かに調べ、消費期限が一目で分かるようにアルバム化した工夫も良かったです。



※作者の意向により一部を加工しています。



坂井市三国北小学校6年  
矢吹 利奈さん

講評 (審査委員)

避難所がどんな所にあるのか、避難する時どんな危険があるのか、写真も合わせて分かりやすくまとめられています。災害状況によって避難ルートや避難所が異なるなど、色々な気づきが得られた防災マップとなっており、災害時に役立つ作品です。



鯖江市立待小学校5年  
西澤 風羽さん

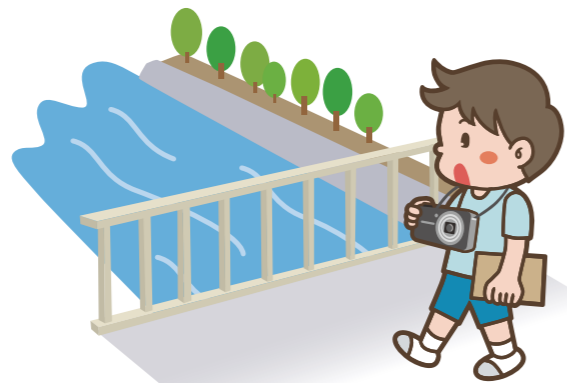
講評 (審査委員)

ハザードマップを活用して地形や河川位置(洪水時の危険区域)を再確認し、対策をまとめている点が素晴らしいです。避難先や避難時の注意点を家族みんなで話し合っている点は、いざという時に家族共通の情報・認識として役立つと考えます。





敦賀市中央小学校6年  
塩野 銀河さん

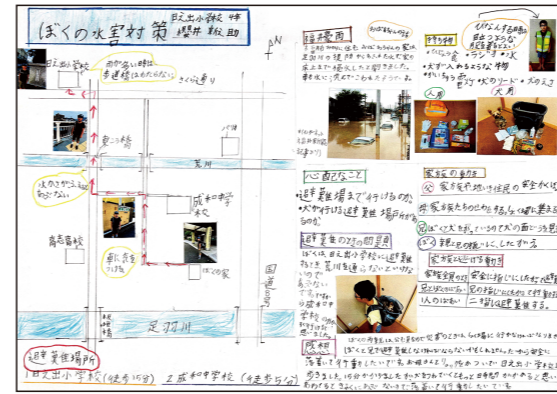


講評 (審査委員)

地域や自治体にある備蓄品や物資の確保状況を事前に把握した上で、各家庭では何が必要かを考える参考になります。災害時は、まず各家庭にある物資を頼ることになるため、この発表をみんなに伝え、備えある災害に強い地域につなげてほしいです。



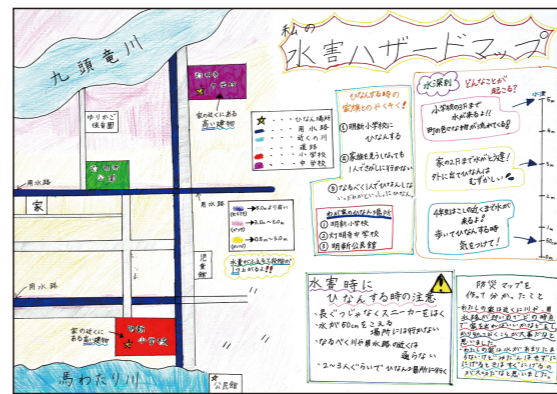
福井市日之出小学校4年  
櫻井 新之助さん



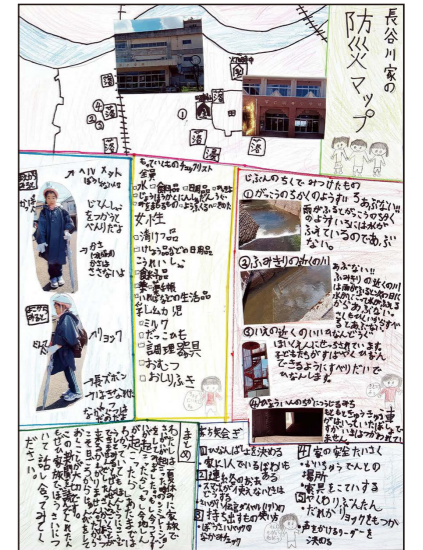
福井市明新小学校4年  
嶋橋 理沙さん



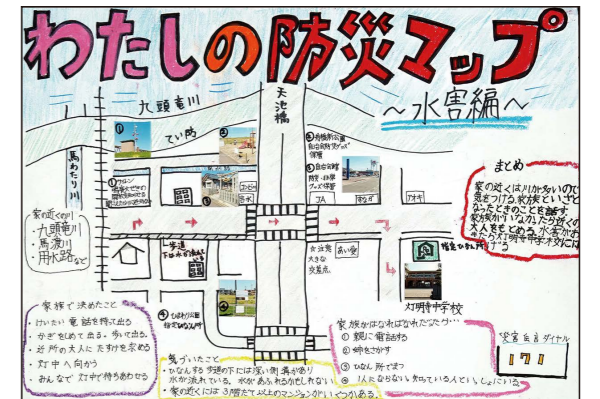
福井市明新小学校4年  
奥平 望瑛さん



福井市明新小学校4年  
長谷川 纏さん

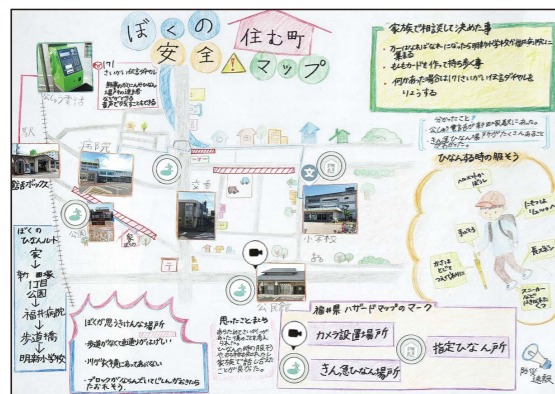


福井市明新小学校4年  
榮 美結さん





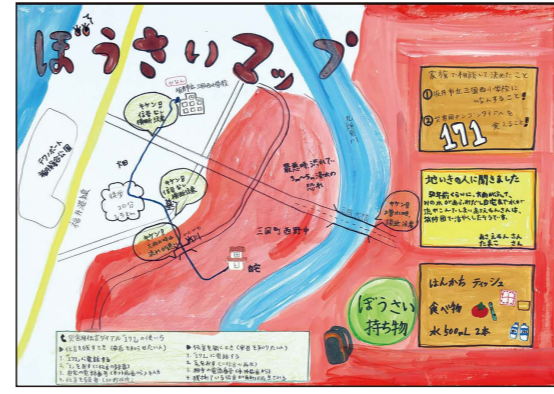
福井市明新小学校4年  
渡邊 明日哉さん



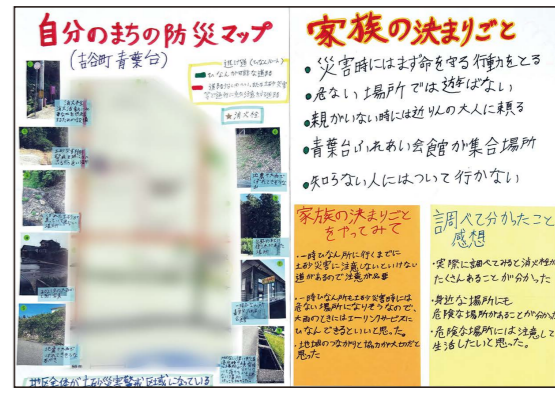
福井市明新小学校4年  
西澤 周平さん



坂井市三国西小学校5年  
浅田 蘭さん



鯖江市片上小学校6年  
三ツ山 泰生さん



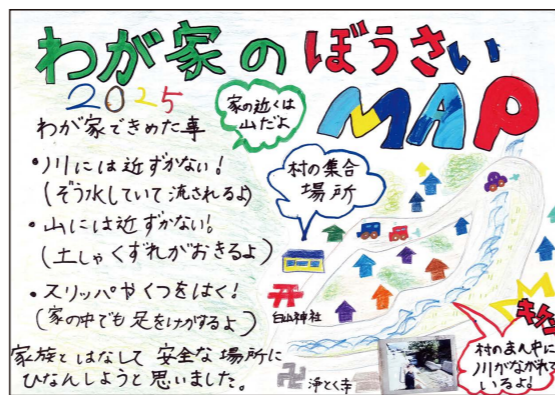
※作者の意向により一部を加工しています。



福井市文殊小学校4年  
木村 悠乃さん



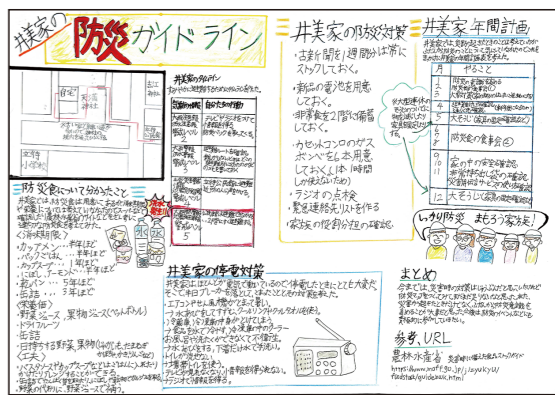
永平寺町上志比小学校5年  
山口 祈和さん



鯖江市立待小学校5年  
駒野 蒼空さん



鯖江市立待小学校6年  
井美 岳大さん



坂井市雄島小学校5年  
伊野 颯馬さん



越前町宮崎小学校6年  
多田 龍駆さん





越前町宮崎小学校6年  
笹下 結詩さん



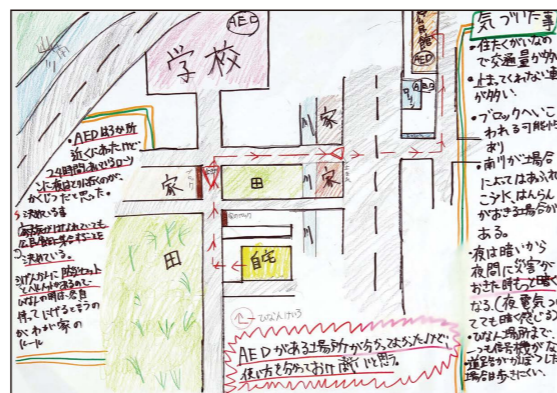
越前町宮崎小学校6年  
川室 勇咲さん



敦賀市敦賀南小学校5年  
小森 実菜さん



小浜市今富小学校6年  
植村 果朋さん

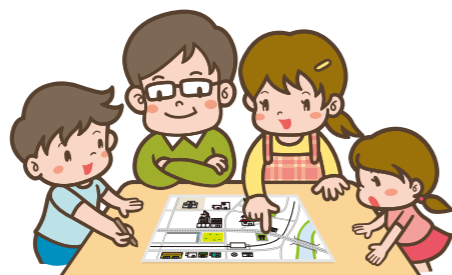


## 防災出前授業やっています!

国土交通省福井河川国道事務所 ☎0776-35-2661  
福井県砂防防災課 ☎0776-20-0494

全国各地で大きな自然災害が起きている中、災害の怖さを知り、十分な備えをすることはとても重要です。ふくいの水防災を考える会は、さまざまな災害にどう備えるべきか、分かりやすくまとめた防災補助教材「災害から命を守る みんなに知ってほしいこと」を作り、ご希望の方に配布しています。

また、国土交通省や福井県では小学校へ出向いての防災出前講座を行っていますので、ご希望があればご相談ください。



主催／ふくいの水防災を考える会

(福井河川国道事務所、福井地方気象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、若狭町)

共催／福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会 福井県防災士会

特別協賛／JA共済連 福井 協賛／近畿建設協会 損保協会北陸支部福井損保会 協力／ミドリ防災